

通信業における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	18~19	集荷先で黄色パレットに小包を積み込み、2tトラックのリフトに載せ、リフトの真後ろでリモコンを使用しリフトを上昇させたところ、リフトが自分の膝程度の高さの時に、強風と振動でパレットが手前に動いてきて、パレットがリフトから斜めに落ちてきた。その斜めのパレットをあわてて両手で支えたが、重さに耐えられずパレットの下敷きになった。その際に、パレットの重心が右足首にかかり、右足首の内側を骨折した。パレットの重さは、パレット自体が約100kg、荷物が約100kgで合計200kgほどあり、パレットの車輪は固定してなく、リフトの車輪止めは使用しなかった。	53	300 ~ 499
3	13~14	小包区分作業の事前準備のため、たたまれたパレットを組み立てるため移動させようとし、パレットの背面を引っ張ったことにより、パレットが転倒し、支えようとした際に左手小指が引っ掛かり、左手小指を骨折した。	45	1000 ~ 9999
4	23~24	発着台において、パレット置場へ移動させた5台の折りたたみパレットを整理するため、外側のパレットから1台ずつ動かしていたところ、パレットがわずかな床の段差でバランスを崩し、残り4台にひっかかって社員の方へ倒れかかってきたので、とっさに支えようとしたが支えきれず、身体の左側とお尻を強打する。	55	500 ~ 999
6	22~23	倉庫内でチルド用ケースの整理をしていた際、天井から垂れ下がっていたコードをよけようと、コードを手で上げたところ、コードを支えていた赤パレットが後部から倒れてきて、右足小指を打撲した。赤パレットはL字に畳まれており、その上にコードが載せられていて、不安定な状態であった。	73	500 ~ 999
6	14~15	折り畳んであった鉄製パレットを組み立てようと、フレームロックを外し広げたところ、床板固定用フックが劣化しており、床板が倒れて頭部にぶつかり、頭部	39	500 ~

		打撲挫創により、全治1週間と診断された。		999
9	15~ 16	局内で折りたたんだ鉄パレット2台を搬送中、置いてあった別パレットにぶつかり、搬送していたパレットが倒れそうになったため支えようとしたが支えきれず、パレットの下敷きになった。	52	10~ 29
10	15~ 16	配達途上、バイクを道路脇に停車して足を踏み出したとき、バイクが風にあおられて自分側に倒れてきた。そのまま転倒し左膝を殴打したものである。当日は台風の影響により強風が吹いていた。	45	500 ~ 999
10	8~9	1階郵便作業を行うフロアで、パレットを整理中に折り畳んだパレットII型5枚をまとめて搬送しパレットを切り替えしようとしたところ、先頭パレット（1枚目）が動いたため、それをおさえようと残り4枚から手を離したら4枚のパレットがバランスを崩し、倒れてきたパレットのメッシュ部分が頭にあたりそのまま倒れ下敷きとなった。すぐに救急車で搬送、結果（検査）胸椎の椎体骨折と診断された。	49	500 ~ 999
11	15~ 16	配達先のお宅の前で、バイク（110cc）から降りて止めようとした際、バランスを崩し、バイクが自分の方に倒れ掛かり、立て直しをはかったが支えきれず、左ステップの先端が自分の右足親指にのしかかり、指先を骨折した。	27	50~ 99
12	18~19	局内4階作業場で、パレットケースに入った大型配達物をパレットに積み替える作業中、パレット下段の奥にパレットケースを積み込もうとした際、パレットの中棚が倒れてきて、後頭部を強打した。	32	1000 ~ 9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html